

とおりである。

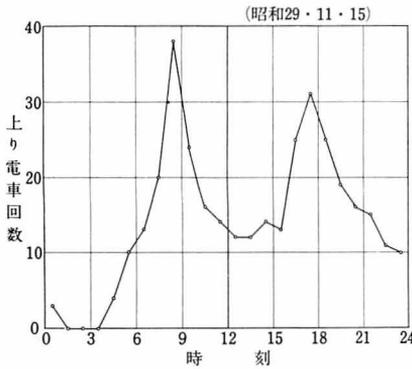
全国平均列車回数（設定列車）の推移は第1表のとおりである。

1日中における、列車回数の時間的分布は客車列車、電車列車、気動車列車においては通勤・通学時間帯の

密度がもっとも大で、昼間は比較的小さく、夜間はもっとも小であるのが普通である。これは大都市付近でもっとも明りょうにあらわれてくる。一例を掲げると図-3のとおりである。貨物列車は支線区においては昼間に列車回数が大であるが、大都市付近の幹線では、線路容量の関係で昼間は運転困難のため、夜間列車回数が大である。

閉塞（へいそく）方式別最大列車回数は第2表のとおりである。（山岸勘六）

図-3 四谷・御茶ノ水間電車回数



れっしゃかんし 列車監視 列車の運転が安全に行われるよう、列車が発発・到着・停止・通過および運転時に、駅長・車掌および機関士が、列車の状態・運転状況または進路の状況等を監視することをいう。列車運転の安全を確保するため、駅長は列車が停車場を出発又は到着する場合および停車場を通過する場合は、その前にとくに信号機および線路の状態が整っていることを、また一方車掌は、列車が支障なく到着・出発し、およびその運転が行われるため、列車が停車場を出発・通過・到着のときおよび停車場に停車中その状態を監視し、また機関士は列車が停車場を出発したときと、運転中その状態を注意し、三者各々の立場において列車が安全に運転できるよう監視を行うのである。列車監視のうち**出発監視**では列車の出発する前に、信号機と線路状態に注意し、列車が進出するときその状況を監視し、停車場を進出し終るまで列車の運転状況と後方を監視することとしている。また**通過監視**では列車が通過する前に、信号機と線路の状態に注意するとともに、列車が停車場に接近してから通過し終るまでの間、その運転状況を監視するものである。その他の場合においても到着前には同様の監視を行い、停車中は停止位置の適正・列車の整備・旅客の乗降・荷物の積卸作業を監視することとしている。（三和達忠）

れっしゃきゅうじ 列車給仕 車掌区におかれる職で、車掌の指揮をうけて列車に乗務し、寝台の取扱・座席の整理その他乗客の案内等を行うもので、一般にはボーイと呼ばれている。現在のところ一等車・寝台車・特別二等車に乗務させており、特別急行列車には女子の列車給仕を乗務させている。（加藤誠次郎）

れっしゃキロ 列車キロ 営業線路上を運転する列車の走行キロ。鉄道輸送の作業量を示す指標で、列車回数に通過距離（営業キロ）を乗じたもの。この場合列車とは、停車場外の本線路を運転するために仕立てた車両をいい、国鉄の車両によって組成された列車のみならず、連絡運輸を行う地方鉄道の乗入列車、および貨物輸送のみを行う区間で、停車場外の線路を構内運転方式により運転する列車を含み、単行機関車および車両の入換を除く。

列車キロは牽引（けんいん）動力車別有貨・無貨別に分ち、さらに旅客列車キロ・貨物列車キロ・混合列車キロを駅間別に計算し局別・大線別・細線別に示されている。

1 旅客列車キロ

有貨旅客列車キロには、客車列車キロ（特別急行列車・普通急行列車・準急行列車・普通客車列車・その他列車別）および電車列車キロ（急行電車列車・普通客電車列車・荷電車列車別）、気動車列車キロ（客気動車列車・その他気動車列車別）の走行キロがある。

無貨旅客列車にはお召列車、およびこれに準ずる臨時列車、職用列車、客車試運転列車、電車試運転列車、配給電車列車、気動車試運転列車等の走行キロがある（ただし会社所有の車両で有貨の試運転のときは有貨に計上）。

2 貨物列車キロ

有貨貨物列車キロには貨物列車、準混列車、急送品列車、石炭列車、長距離小口列車、試運転列車（会社所有の車両で有貨のとき）等の走行キロがある。無貨貨物列車キロは試運転列車・救援列車が貨車であるとき、および鉄道経費・船舶経費・自動車経費負担の工事列車またはその他列車の走行キロである。

3 混合列車キロ

客車と貨車とを連結している列車の走行キロである。

4 換算列車キロ

運輸成績および原価計算その他経営計算の必要上混合列車キロを旅客列車キロと貨物列車キロとに区分換算したものであって、その計算方は毎年特定月に調査した連結別車両キロ月報を基礎として、混合列車の分割比率（比率は換算による）を定め、これにより混合列車キロを旅客列車および貨物列車キロに分割し、それぞれ旅客列車キロおよび貨物列車キロに加算する。

列車キロは鉄道輸送計画設定上の基本数値として用いられ、年度列車計画の列車キロは、旅客輸送人員および貨物輸送トンキロの予想と、旅客列車平均乗車人員および貨物列車平均輸送トン数にもとづいて算定される。なお列車キロについては上記の種別のほか、運転計画上つぎのような用語がある。

1 列車設定キロ ダイヤ上に設定されている列車のキロ数をいうのであって、定期・不定期に区別されるほか、さらに旅客・混合・小荷物・貨物・電車・気動車・その他に分類されている。

2 列車実運転キロ 列車走行キロまたは列車運転キロともいい、実績列車キロを示すもので、列車設定キロと同様に分類

昭和29年度列車キロ表（国鉄、1日平均） 運転局列車課

種別	旅客				混合		貨物				その他	合計	気動車	電車	総計
	定期	小荷物	不定期	臨時	計	定期	臨時	計	定期	不定期					
設定	(40,075) 313,101	(1,622) 7,650	(1,130) 3,259	(42,827) 324,010	(133) 40,307	(133) 40,307	(41,293) 287,145	(5,747) 37,533	(47,040) 324,678	(90,000) 688,995	47,930	185,470	922,395		
実運転	(40,016) 312,452	(1,622) 7,650	(894) 2,553	(3,151) 344,184	(133) 40,064	(6) 40,575	(139) 269,425	(4,603) 27,023	(3,149) 20,322	(47,052) 316,770	(1,854) 8,801	(94,728) 710,330	47,868	183,611	941,809

かつこ内の数字は電気機関車による列車で内訳を示す。